



日本一人口の多い村 よみたんそん

65号 2016年3月 定例議会

平成28年3月末現在
(人口41,204人)

議会だより



題字を書いてみて
議会だよりの字の
ひらがながむずかし
かった。特に「だ」の
字がむずかしかった。

題字：伊波

はるか 遥 (渡慶次小学校6年生)



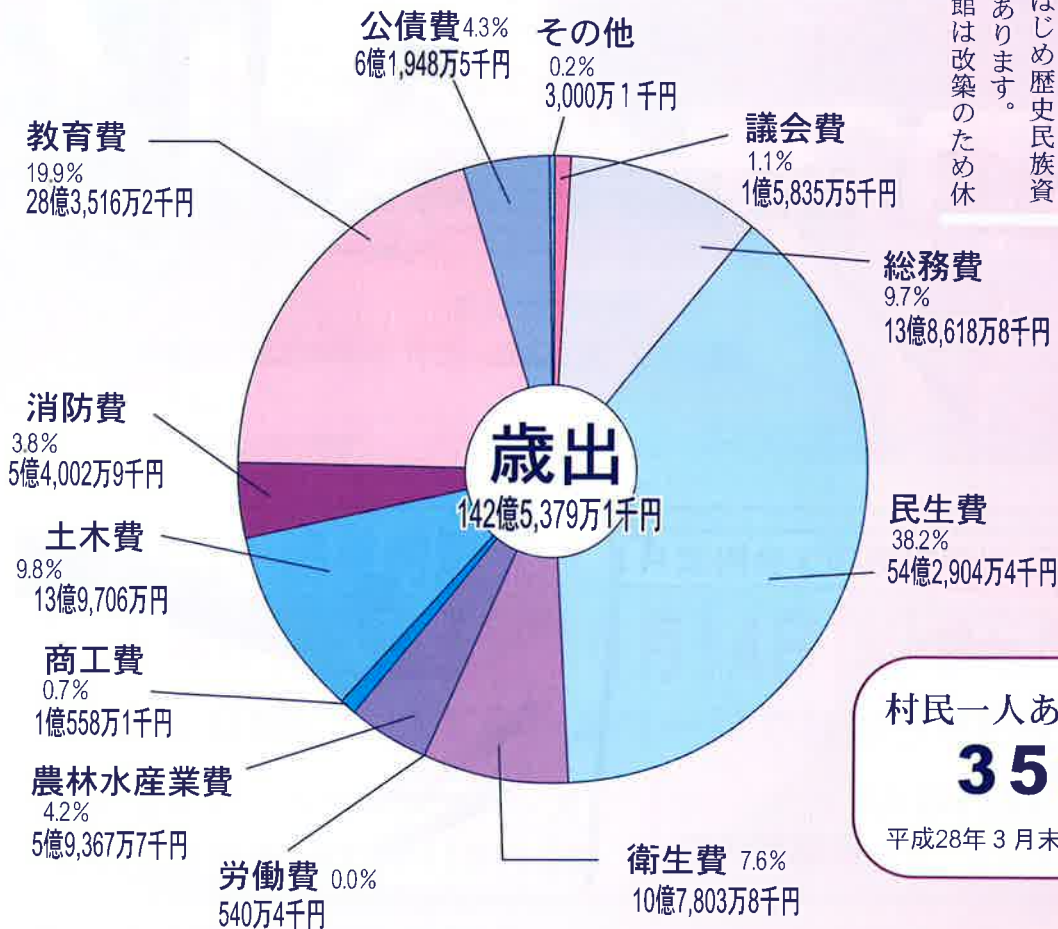
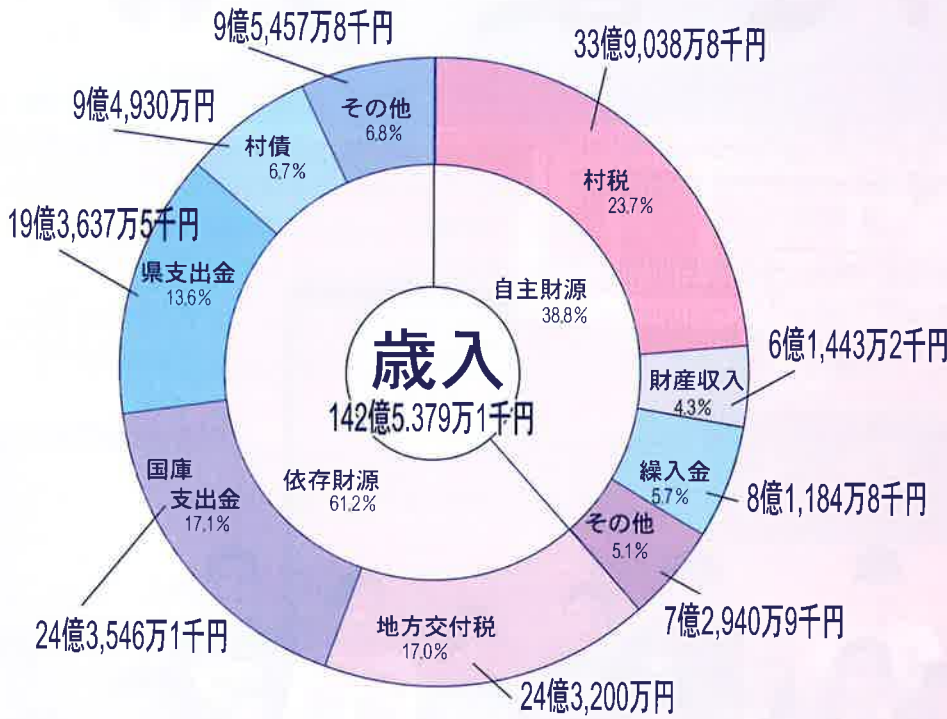
主な目次

- ◎平成28年度予算……………P 2～3
- ◎一般質問……………P 4～15
- ◎平成27年度政務活動費
収支報告書……………P15



2016年(平成28年6月発行)

億5,379万1千円



平成28年度読谷村一般会計予算が、3月定例議会において認定されました。一般会計の歳入歳出予算の総額は過去最高の142億5379万1千円となり、対前年度比7億4025万4千円（5.5%）の増額になっています。

歳入予算における自主財源と依存財源の割合について、自主財源は55億400万7千円で38.8%、依存財源は87億771万4千円61.2%となっています。自主財源は村税等の増加により、前年度に比べ1億6203万3千円（3.0%）の増、依存財源は県支出金、国庫支出金等の増により、前年度に比べ5億7822万1千円（7.1%）の増になっています。

また、主な増額の理由として、読谷第二給食調理場新增改築事業をはじめ歴史民族資料館建設事業や読谷村都屋漁港水産物展示販売等施設整備補助事業等があります。

なお、平成28年度から29年度までの2年間、歴史民族資料館と美術館は改築のため休館致します。

村民一人あたりの支出額

35万1円

平成28年3月末人口 4万725人

平成28年度 一般会計予算

142

特別会計予算認定

※少数点第2位四捨五入

(単位：千円、%)

| |
|--|
| <p>診療所特別会計 2億4,401万8千円 前年度比較 (%) 2.1増</p> |
| <p>国民健康保険特別会計 66億9,425万3千円 前年度比 (%) 2.2減</p> |
| <p>後期高齢者医療特別会計 3億7,374万3千円 前年度比較 (%) 2.2増</p> |
| <p>下水道事業特別会計 4億6,585万円 前年度比較 (%) 4.6増</p> |
| <p>水道事業会計 11億2,154万円 前年度比較 (%) 1減</p> |
| <p>合計 88億9,990万4千円 前年度比較 (%) 1減</p> |

| 区 分 | 年 度 | 平成28年度 | |
|------|-----------------------------------|------------|------|
| | | 予算額 | 構成比 |
| 自主財源 | 村 税 | 3,390,388 | 23.7 |
| | 分 担 金 及 び 負 担 金 | 193,869 | 1.4 |
| | 使 用 料 及 び 手 数 料 | 272,909 | 1.9 |
| | 財 産 収 入 | 614,432 | 4.3 |
| | 寄 附 金 | 11,000 | 0.1 |
| | 繰 入 金 | 811,848 | 5.7 |
| | 繰 越 金 | 64,447 | 0.4 |
| | 諸 収 入 | 187,184 | 1.3 |
| | 小 計 | 5,546,077 | 38.8 |
| 依存財源 | 地 方 譲 与 税 | 71,176 | 0.5 |
| | 利 子 割 交 付 金 | 4,907 | 0.0 |
| | 配 当 割 交 付 金 | 10,293 | 0.1 |
| | 株 式 等 譲 渡 所 得 割 交 付 金 | 9,0664 | 0.1 |
| | 地 方 消 費 税 交 付 金 | 507,388 | 3.6 |
| | ゴ ル フ 場 利 用 税 交 付 金 | 16,588 | 0.1 |
| | 自 動 車 取 得 税 交 付 金 | 11,656 | 0.1 |
| | 国 有 提 供 施 設 等 所 在 市 町 村 助 成 交 付 金 | 72,464 | 0.5 |
| | 施 設 等 所 在 市 町 村 調 整 交 付 金 | 237,068 | 1.7 |
| | 地 方 特 例 交 付 金 | 10,974 | 0.1 |
| | 地 方 交 付 税 | 2,432,000 | 17.0 |
| | 交 通 安 全 対 策 特 別 交 付 金 | 3,000 | 0.0 |
| | 国 庫 支 出 金 | 2,435,461 | 17.1 |
| | 県 支 出 金 | 1,936,375 | 13.6 |
| | 村 債 | 949,300 | 6.7 |
| | 小 計 | 8,707,714 | 61.2 |
| | 歳 入 合 計 | 14,253,791 | 100 |

自主財源

村が自主的に収納することができる財源。財産収入、固定資産税、村民税など。

依存財源

国や県から割り当てられる補助金や交付金。

Q 村政を問う!! 一般質問



上地 榮

子どもの貧困対策は！

問 県内の子ども貧困率は29%で全国平均の163%を大きく上回っている。本村の取り組みを問う

答 沖縄県子ども貧困対策計画を踏まえ、同計画で設定された34項目の数値目標実現のため取り組んでいく。また、就学援助については現在462名の小中学生に給付している。就労支援については、グッドジョブサポートを推進するとともに職業訓練促進給付金等についても子ども未来課の窓口で周知をしている。

基準値の約8倍のダイオキシンが計測されている。

問 旧読谷飛行場跡地の波

平地区（A地区）の環境汚染の状況と対策は
答 平成25年に土地改良事業を進める際、不法投棄物が発見された。具体的にはダイオキシンが基準値の8倍鉛が基準値の21倍の汚染物質が発見された。現在、県、沖縄防衛局と相談しながら対策を進めている。



基準値8倍のダイオキシンが計測された波平地区

本村の非正規公務員の労働条件の改善について

問 本村の非正規公務員の実態と待遇改善は

答 平成28年3月時点で、

非正規公務員率は57.2%である。嘱託職員については、産前産後休暇があるが、臨時職員については検討中である。育児休業については、嘱託職員は検討中だが臨時職員については法律により対象にならない。

大湾交差点の交通渋滞解消について

問 嘉手納の道の駅から来る同交差点の朝夕の渋滞の解消はできないか

答 当該道路については嘉手納警察署と協議を踏まえ現状の右折車線約70mを約160mに今年の3月下旬に延伸した。

2基の防犯灯の設置について

問 ローヤルレストランより約100m上の十字路及び楚辺5号線と旧軍道のT字型

交差点は、夜間に判別できないので防犯灯の設置はできないか

答 防犯灯として整備できるか検討する。

トリイ基地の海岸付近の文化財調査について

問 平成24年の台風16号の被害に対して土のう袋で応急対策はされたが、本格的な工事はいつになるか

答 現在は本體工事のための文化財調査である。今後は平成28年に実地設計を行い、本體工事は平成32年の完成を目指している。

本村の中学校の学力は5科目すべてで県平均を上回っている

問 本村の中学校の学力状況と実践報告会の持ち方の改善について問う

答 本村の中学校の学力はみだしの通りであるが、全国平均には5科目とも達していない。実践報告会については多くの方に報告できるように広い場所で行うように確認する。



國吉 雅和

読中運動場跡地に「こばと幼稚園」と「スケートボード場」の併設

問 旧読谷中学校跡地利用計画を問う

答 校舎側は地区計画の策定と、平成28年度中に業者選定を行い、平成29～30年度は跡地利用したい。業者からは申し出がある。

問 平成28年1月18日付けで提出されている、運動場跡地に「読谷こばと幼稚園」園舎移設についての要望書について

答 関係部署で意見集約を行い、道路問題・排水問題等総合的に勘案し判断していきたい。

問 学校法人こばと学園は、刷新した役員体制と外部監査の公認会計士により透明



読中運動場跡地にスケボーパークを！

で健全な体制を整え、平成27年度は園児数50%増の71名、学童の預かりは定員50名に対し待機20名を含めると70名を超える状況で2～3年後には100名を超える試算になり、それらを鑑みて平成28～29年度中に手狭な現在の園舎の移設と、また、読谷村でも1,000人を超えるスケートボード人口があり、子ども達の放課後の居場所作りという点でスケートパークを併設した施設の許可を求めることについて

答 跡地利用の促進と読谷村が抱えている待機児童問題に対応する施設であり総合的に検討していく。

幼稚園の複数年教育の検討会を立ち上げる

問 村立幼稚園の複数年教育の見解を求めます。

答 幼稚園の複数年教育は、幼児の性格や特性を踏まえた長期的な視野をもつて充実した教育が行われるものと考え、平成28年度に幼稚園の複数年教育についての検討会を立ち上げたい。

就学援助の拡充

問 就学援助の受給率が中部市町村平均の半分であり、認定基準を非課税世帯から課税世帯へ拡充すべきではないか。

答 準要保護は市町村の単独の事業で村は非課税世帯を対象にしている。保護者への制度の周知は学校をとおしてかかわっている。

育英会員と制度の拡充

問 平成18年度99人の利用者が平成27年度41人と半減した理由と奨学金の償還方

法は

答 課税基準の引き下げが影響と考える。償還は卒業半年後より貸費金の2分の1を返還する。

提言

課税基準の引き上げと返還方法は再検討し利用者の利便を図り、また、大学院生と高校生への拡充を求める。

新火葬場の使用料金は

問 現行の使用料金である村内800円、村外3万5000円を踏襲するのか。

答 新火葬場の維持管理費は1700万円を見込んでおり、現行の700万円の管理費と比較しても値上げはせざるを得ない。

自治公民館トイレの洋式化

問 築20年以上の公民館和式トイレを行政負担で洋式化を求める。

答 地域住民のニーズに対応したトイレの洋式化等について自治会長と協議を行い検討する。



仲宗根盛良

石けん洗剤の有効活用推進について

問 石けん洗剤の利活用状況はどうなっているか。

答 村立保育所において固形石けんを活用。新調理場でも活用を検討していきます。

問 先進自治体等の調査も行うべきと思うがどうか。

答 石けんと合成洗剤の良



し悪しを含め、他自治体の情報を収集していく。

村内小学校での部活動の状況について

問 村内各小学校の部活動の実態はどうなっているのか。

答 渡小9、読小9、喜小5、古小7、古南小8の合計38団体が活動している。

問 県学力向上推進本部からの提言内容を伺う。

答 主には、
(1) 翌日の授業への影響を及ぼさないこと。
(2) 週三日以上の休養日を設けること。
(3) 各種大会への出場を精選することである。

日本一の「村」読谷村を目指して

問 多くの事業が実施されて来たが、その成果と評価を伺いたい。

答 岩手県滝沢市からの引継を行い、「カウントダウンイベント」、「わんが一番コンテスト」等では本村の知名度向上が図られた。

問 来年は新庁舎落成から20年になり、観光協会とも連携した事業は出来ないか。

答 文化、産業など様々な分野で村民をはじめ、各種団体とも協力をして進めていきたい。

職員の意識改革の方策について

問 機構改革に伴う、職員の意識改革の方策を伺う。

答 毎年あらゆる研修事業を通し、意識の改革に努力している。

問 派遣した職員が復職した際、どう評価しているか。
答 特別昇給などで手当している。

国民年金の新後納制度活用について

問 平成27年10月から3年間で過去5年分まで支払える制度もスタートしているが、その周知方法を伺う。

答 日本年金機構から対象者に通知されており、村はホームページや自治会長会を通して行っている。

国保での第三者求償事務について

問 国保加入者で交通事故被害者の求償事務件数と金額を伺いたい。

答 平成24年度6件で43万3千円、平成25年度4件で208万1千円、平成26年度5件で103万円となっている。



當間 良史

読谷村の子どもの貧困対策は！

国は平成28年度予算に沖縄の子どもの貧困問題解決に向けて、年間10億円（平成33年まで100%補助）の予算を計上している

問 本村の実状と母子家庭の現状は

答 生活保護や低収入の母子世帯、ひとり親世帯の中で生活支援が必要な児童は25人。母子家庭世帯数は836世帯

問 新年度の取り組みは

答 貧困対策支援員を1名配置し地域の現状を把握し、学校や関係機関との調整役を担う予定。また、子どもの居場所を提供し、生活指

導および学習支援を行う予定。

問 指導員の人選はどの様に行うのか。また、居場所づくりの具体的な内容は

答 国家資格を持つている社会福祉士を配置予定。居場所づくりでは、将来的に自立するために単なる食事の提供ではなく、一緒に調理や買い物などの生活支援を行う予定。

プレミアム商品券の成果は！

問 昨年度に発売した「プレミアム商品券」による経済効果は

答 この事業では、プレミアム分を入れて3億6000万円分の商品券が販売され、そのうち換金された3億500万7500円の直接的な消費額があり、商品券による消費喚起額は約1億7100万円であったと考える。

問 販売時のトラブル等は

販売時のトラブル等は

なかったか

答 村民の皆さまからは、販売手法に関して数々の質問や意見がありました。が、トラブルや課題はなかった。

問 今後も村独自でプレミアム商品券を発売しては

答 今回の商品券の動きとして大型店舗に集中していることから、地域経済を活性化するために、どのような手法があるか今後の研究課題としていきたい。

「念願のふるさと納税が始まる！」

問 この4月より、ふるさと納税をされた方に対し、お返しとして本村の特産物を送る事業がスタートします。その事業内容を伺う

答 寄附額の30%を上限に読谷村の特産である紅芋菓子や泡盛残波、伝統工芸品のヤチムン、読谷山花織、琉球ガラスなどを、お送り

たいと思っています

問 今年度の目標は

答 平成27年度が40件、約500万円であったので28年度は、2倍の100件1000万円を目標にしている。



読谷村の特産物で村おこしを！



伊佐 眞武

イモゾウムシ対策について

問 ①バイオマス試験研究施設運営事業の実績はどうなっていますか

②害虫対策として一定の面積内で「野焼き」の実証実験をしてはどうか

答 ①平成24年5月稼働し、これまで192tの被害イモが搬入されています。

②害虫対策としては、被害イモにあったイモの搬入をバイオマス試験研究施設で受け入れて炭化処理し、完全に害虫を死滅させていますので、野焼きによる実証実験は考えておりません。

いますか

答 沖縄県が久米島と津堅島で根絶事業をしていますが、読谷村、沖縄本島で根絶事業をする上では、米軍基地もあり、あと何年かかるかはまだ想定はつかない現状です。

問 イモゾウムシは、地際の部の茎に産卵する事から、薬剤による防除方法もありますが、収穫前に刈り取ったカズラを、畑で焼却処分した方がより効果的な防除になると思えますがどうでしょうか

答 被害イモを圃場から全部撤去するのが一番いい方法だと思えます。「被害イモ、カズラを含めてバイオマス施設に持ってきて下さい」と一貫した指導を続けていきたいと思えます。

村民の健康づくりに関連して

問 ①村内の公園内に中高



年が使える健康遊具の設置してはどうか

健康遊具の設置状況は、セーラの森公園、整備中の伊良皆地区広場にも設置されます。村民の健康意識から必要性も十分認識しておりますので、今後、ウォーキング利用者が多い公園から設置の検討をしていきたい。



公園に高齢者向けの健康遊具を！

交通安全対策について

読谷高校グランウンド向かいの横断歩道は、白線が消えかかっています。通路にもなっている事から、より注意喚起されるカラー舗装で安全確保を図る必要はないか。ここは、交差点が極端に斜めになっている事、更には坂になっている事等から見通しが非常に悪い状況です。早目の要請をしていただきたい。

当該横断歩道が、県管理になる事から、沖縄県、嘉手納警察署等へ要請したいと考えています。



長濱 宗則

沖縄県離島体験交流促進事業から

事業の目的と概要とは

沖縄本島の小学校5年生が県内の離島に2泊3日滞在し離島の児童・生徒や住民と交流することであり、22年度スタートした事業で費用はすべて県費で行う。

付金額を問う
平成27年から平成31年度までの5年間であります、平成27年度の内示額は472万6千円、で交付金は事業の進捗状況に応じて積算される交付金の内示がでる。28年度は6月から7月迄に内示が出る予定。

読谷村として再編交付金の活用方法は

地域振興・活性化、環境モニタリング、交通安全対策を検討している。

黙認耕作者の対応をどう考えているか

中間管理機構事業で進められている農地に応募の方法と、5法人のもと、法人が認めれば、従業員として営農が出来る方法がある。

読谷村の通学路から

通学路の安全確保のため路面標示、カラー標示が必要ではないか

児童生徒の安全確保は必要であり、その手段として



ガードレールの設置必要な古堅小学校の門前

路面標示、カラー標示有効である

古堅小幼稚園校門側にガードレールを設置すべきでは

幼稚園に接する曲がり角は直角であるので安全の面からガードレールの設置を検討したいと考えている。

公職選挙法改正に伴う18歳選挙権から

読谷村選挙管理委員会の取り組み状況について

読谷村明るい選挙推進協議会とともに学校回り、ポスター掲示、等に協力をお願いしている

読谷村の新有権者数は94名で全体の3.21%になる

大木公園設備事業から

本工事の実施は

平成28年6月から12月完成予定

大木地区の要望は反映されているか

徳武佐周辺整備も含め、可能な限り取り入れていきたい

米軍再編交付金から

再編交付金の期間と交



津波古菊江

**キャンピングカーと
キャンプ瑞慶覧から
トリイ通信施設への
一部施設移転による
村民のくらしの安全・
安心について**

問 県道16号線の古堅給油所前交差点から国道バイパスへの右折帯の設置はできないか

を村内に設置出来ないか、政府は205年補助金の増額で施設整備費や看護師、保育士の人件費の補助金も対応すると云う事なので読谷村もチャレンジしてはどうか

貧困を解消するための課題はH25年度保育階層別割合と就学援助率の沖繩県の調査から保育料階層別（生活保護市町村県民税非課税世帯）が32.6%、就学援助率11.0%と大分開きがあるが就学援助の申請の方法は



城間 勇

とを目的に開催していきたい。
渡具知海岸沿いの遊休地への温泉付きリゾートホテルの実現に関する進捗状況について

答 更なる交通渋滞の悪化は予測出来るが根本的解決策は中央残波線や沖繩西海岸道路の早期開通だがメイ

答 働くお母さんの支援等には必要だと感じている、もう少し検証したい。

答 制度の周知（保護者や学校事務の方等）全児童生徒に配布等は行っているが、今後も強化していく。また、担任の先生や学校事務との連携を深めて受給もれがない様対応していく。

子どもの貧困対策について

問 トリイメインゲートが県道6号から国道バイパス（大木）に移設された場合の交通渋滞等予想される問題は？

問 読谷村の子どもの貧困に関する現状（世帯数と子供の数）

答 第6回世界のユンタンザンチュ歓迎レセプションは、本村出身の海外移住者を歓迎するとともに、親睦と融和を深め、国際交流の推進を図っていく。また、世界に広がる貴重なユンタンザンチュのネットワークを活かし、本村の若者たちが海外へ目を向け、将来の可能性を見出す契機になること、そのことがグローバルな人材育成のきっかけになること

県道16号線の交通渋滞が予想されるが交通安全の観点からガードレールの設置はできないか

答 この地域は古堅南小学校区で児童・生徒・幼稚園児、延長保育児、児童館、学童保育と子供達が遅くまで活動する場であり今後、米軍車輛や一般車輛の増加による事件、事故等の対応の一つとしてガードレールの設置。

病児、病後児保育の更なる充実に向けて

問 病児、病後児保育の利用状況について

答 H26年度91人、H27年度2月現在で108人。

問 病児、病後児保育施設



子ども達の健やかな成長を願う！

平成28年は5年に一度の第6回世界のユンタンザンチュ大会が開催される。本村でも村出身者と村民との交流を目的に「第6回世界のユンタンザンチュ歓迎レセプション」を開催するとあるが

答 第6回世界のユンタンザンチュ歓迎レセプションは、本村出身の海外移住者を歓迎するとともに、親睦と融和を深め、国際交流の推進を図っていく。また、世界に広がる貴重なユンタンザンチュのネットワークを活かし、本村の若者たちが海外へ目を向け、将来の可能性を見出す契機になること、そのことがグローバルな人材育成のきっかけになること

問 平成27年9月28日に有限会社丸真産業よりホテル建設に係る開発申請関係の依頼を受けたコンサルタント会社から、本開発に係る計画書が企画財政課に提出され、精査を行い、経営計画進入路、景観条例、地域とのかかり方の4点について、再検討が必要であるとの結論に至り、平成27年10月9日、コンサルタント会社に対して以上の4点について再検討するように伝えるとともに、提出された計画書を反映させたものを再度提出するように伝えているとの回答であったが。

答 その後の進捗状況について、平成28年2月15日にコンサルタント会社より事業計画の再提出がなされて

いる。それを受け、確認作業を行っているところである。

読谷まつり闘牛大会や各種イベントも可能な多目的施設「闘牛場」の建設について

答 読谷補助飛行場跡地等での基本設計等の整合性を図りながら再度、村有地の用地確保ができないか関係課と意見交換を図っている。現在のむら咲むらが年々盛況になっていく中で、手狭であるというのは認識している。課題としては、臨時駐車場の確保と仮設トイレの設置、観客席の拡張や観客と牛が移動する動線が一緒となっており、危惧している。解決策については、毎回両闘牛組合と調整会議を行いながら闘牛大会の円滑な運営を図っている。



昨年の読谷まつり闘牛大会

マックスバリュ―読谷店の背後、古堅764番地から古堅738番地間の道路及び排水路の整備について

答 平成22年度に概略設計を行っております。



山城 正輝

トリイ基地内外の汚染調査は、専門家と相談し決定！

問 今回移設される施設の監視をどうするか

答 水質環境調査を専門家と相談しながら決定していく。

問 キャンプ瑞慶覧やキャンプキンザーでのPCB検出についてどう認識しているか

答 環境汚染にならないように取り組むことが重要。

問 オスプレイ等の騒音について

答 騒音測定は、役場庁舎の屋上の方にも設置。手持ちの測定器でも測定。オスプレイの飛来は、容認していない。

問 南部地域も集中的に測定すべき。湧水、海水の水質についての認識はどうか

答 既存のデータも踏まえ

て調査を行いたい。

問 村が行った枯葉剤調査要請に対する回答はどうなっているか

答 沖縄防衛局は、枯葉剤が沖縄にあったということを書いていない。

問 今後の村における基地問題体制は、どうなるか

答 基地渉外は、企画政策課環境問題は、生活環境課が新設される。

島尻大臣と村長の対談は、具体的な要請も回答もなし。基地問題、子ども貧困対策の言及もなし？

問 余り実りある対談ではなかったのか。村の要望は

答 具体的なことではなく、スポーツコンベンション事業への支持をお願いした。

病院窓口での支払いをしなくてもすむ子ども医療費「貸し付け」制度導入は、検討！

親の国保税滞納と関係なく、高校生以下の子どもに届けるべきことになっている国民健康保険保険証を2世帯3名に速やかに届くよう努力する！

困窮世帯対象の無料低額診療事業における薬代補助は、検討！

座喜味アマガール橋（フアミリーマート東）、県道12号の歩道、ガードレール改修は、工事発注手続中！

問 橋両面は、座喜味自治会が40〜50年間草刈作業をしている。両側は急勾配のため草刈機使用に困難をきたしている。草刈道を設置

すべきではないか

答 県は、清掃活動を把握してなかった。今後、奉仕作業を伝えながら、得策を考えていけたらよい。

問 ガードレール破損と歩道亀裂の改修については

答 破損状況は、把握しており、工事発注手続を進めているところである。

横田自治会の防災スピーカー難聴地域の解消は、平28年実施設計、平29年工事の予定

村陸上競技場東側駐車広場における洪水、冠水対策は、調査研究し、いい方法を検討する！



難聴地域を解消するために改善が待たれる横田自治会の防犯スピーカー



比嘉 幸雄

道路行政について

問 中央残波線と喜名50号線の交差点について信号機設置の進捗状況は、右折・左折車線を設置できないか横断歩道、道路照明の設置は

答 ご質問の交差点への信号機、道路照明、横断歩道及び右折・左折車線の設置は次年度に予定している村道大木く喜名線整備事業の実施設計において計画している。

問 中央分離帯に除草剤が使用されていたが今後も除草剤で対処するのか伺う

答 中央分離帯のような一般の方が入らない箇所や作業員の安全性を考慮し、使用する。

問 今年10月には新読谷村火葬場が供用開始する。村内からの交通アクセスとして県道12号線から国道58号

線への国道バイパスの早急な開通は出来ないか

答 読谷村も推進の立場は当然持っており、早めの開通に向けて連携をしている。



信号機がなく危険な交差点

防犯灯

問 新年度予定されている防犯灯設置場所と設置灯数は

答 は 設置場所につきまして

は設置要望箇所の中から検討し、設置灯数は10灯になる。

問 昨年度の3月定例会で通学路を最も優先したいというという答弁があつたがその点は

答 当然通学路は優先的にやっていく。

子ども貧困対策

問 県民所得全国最下位、母子世帯の出現率が全国一の沖縄県では子供の貧困率が29%と高くなっている。読谷村の現状対策は

答 村民所得は200万円以下であり、母子出現率は県平均を上回っているが町村ごとの貧困率は出ていない。貧困対策支援員の配置と、子どもの居場所づくりの運営支援を実施する。

問 読谷村の「就学援助」の現状を伺う

答 平成27年度小学校の要保護児童数は7人、準保護児童は279人、中学高の要保護児童数は5人で準要保護生徒数は171人となっており

ます。

問 支援員の配置数において那覇市が18人沖縄市が16人浦添市が11人、読谷村の支援員1人の根拠は

答 国家資格を持った社会福祉士を配置して密度の濃い支援をしていきたい。

問 島尻沖縄担当大臣の肝いりで予算計上され10億円という予算が確保されている。県も30億円の基金を積み立てており最大の課題はお金がないという事ではなく自治体の技量が試されているという側面もあるが伺う

答 担当課の方ですぐ体制を整えておりかなりの力量があると思う。

路上駐車

問 人口増加と車の普及に伴い、緊急車両が通れななどの問題が深刻化している

答 「自動車の保管場所の確保等に関する法律」による車庫証明の義務付けは必要ではないか

答 検討をしていく時期に

来ていると思う。



新城 昭彦

波平848番地（イット力城）北側の排水路について伺う

問 排水路のサイズはどれくらいか？排水路から、下の滝つぼに直接水が落ちて里道が浸食され危険である、安全対策は出来ないか

答 排水路のサイズは、高さ1.5メートル、幅約1.7メートルある。里道が浸食されている箇所は地域の自治会長や住民と協議して安全対策等協議したい。

問 県営波平団地と隣のアパートは排水路よりかなり高いが大雨の場合上まで冠水する調査して改修が必要と考えるが

答 県営波平団地内を通るヒューム管の飲み込み口に設置された安全柵に木の枝等が引掛かり流れが阻害される事が原因と考える。大雨や台風等が発生する前に巡回し清掃等を行い今後の状況を注視したい。

波平幹線農道と村道4号線、波平、残波線の交差点について伺う

問 この交差点は以前から事故が多く、村民から、危険な交差点で早めの安全対策が必要と言う声がある。対策は考えられるか

問

問



答 当該交差点付近の対策は出来てない。幹線農道へ注意呼びかけの看板を4枚設置している。



信号機が無く危険な交差点

て行きたい。

28年度施政方針から軍用地跡地利用推進について伺う

問 県営畑地帯総合整備Aブロックの進捗状況は

答 畑地帯総合整備事業は圃場整備、畑地灌漑施設も含め28年度完成予定。

問 北地区と楚辺通信所跡地の進捗状況は

答 平成27年度中は進んでいない、新規事業の設立を考へ委託業務を行い沖縄防衛局と調整し、検討中を行っている。

問 楚辺通信施設跡地の地区計画の都市計画決定の進捗状況は

答 平成27年7月14日に都市計画提案評価検討委員会において採用、現在提案書をもとに法廷手続図書を作成3月末完成予定で、関係機関協議を進め8月頃都市計画決定を見込んでいます。



神谷 嘉栄

通学区の変更に伴うコミュニティバス(鳳バス)の運行経路を伺う

問 都屋地域と読谷中学校間のコース設定はできないか

答 平成28年度から、都屋地域の学区区が古堅中学校から読谷中学校に変わることに伴い都屋地域の中学校が通学で利用できるよう地域公共交通会議でルート変更を協議し、申請準備を総合事務局へ行い、認可され次第ルートを変更することとなる。



ルート変更が望まれる

配慮するが、部活の夏時間、冬時間の対応ができてない状況が課題である。

問 今後の状況等を注視し、関係課及び関係者などと協議を行い検討したい。

問 村道残波線の幅員の分、道路下に側溝のようなものを設け、反対側の側溝まで延ばすことはできないか

答 延伸して、反対側に導くというのも方法のひとつと思うが、浸透施設、浸透人口を設けたりするなど、原因究明も図りながらやらないと根本的な解決にはならないと思う。

問 気をつけたいのは下校時、特に夕方だと思うのだがどう考えるか

答 子どもたちに交通安全指導をしていきたい。

問 道路標示以外にも安全を促すことができないか

答 道路標示以外の安全対策としては、看板等の設置がある。

大雨時に排水溝から溢れ出る雨水の冠水対策を伺う

問 村道残波線沿い、瀬名波境地原の住宅街における排水溝から溢れた原因は何か

答 地域に降った雨が短時間で集中し排水溝へ流入したことで道路側溝の流速が大きい等が原因と考えられる。

学校周辺の安全対策を伺う

問 古堅南小学校の駐車場出入り口付近の交差点は危険に思える。通行する車両に減速を促す道路標示はできないか

答 登校の朝の時間帯はPTA等の協力で登校指導が行われ、当該場所は、信号

問 県道の路面上に「速度落とせ」の文字と縞模様状に「く」の字形の連らなつた標示があるのだが、それがドライバーへの注意喚起を促せるとは思えないか

答 村道でそういう標示自体まだだが、検討させてもらいたい。

問 交差点に点滅信号機の設置は出来ないか

答 当該場所の信号設置要請を行った事は無い検討し

問 登下校の通学時間帯に配慮できないか

問 冠水対策の方法はないか

問 登下校の朝の時間帯はPTA等の協力で登校指導が行われ、当該場所は、信号



上地利枝子

みらい児童館の活動状況

問 一日の利用者数とこれまでの事業内容

答 一日の平均利用者数は76人で、事業内容は、対馬丸記念館での平和学習、「空気の不思議」と題してのサイエンス教室、敬老の日感謝プレゼントづくり、かるた大会、ムーチャーづくり、節分の豆まきなど。

問 学校・地域ボランティアの皆さんとの連携

答 保育専門学校の学生、元保育所職員、元学校栄養士、古堅青年会の方々がボランティアとしてかかわっている。

問 北部地域への児童館建設について伺う。

答 平成31年まで児童館の建設計画はない。

放課後児童健全育成事業について（南学童クラブ）

問 対象となる児童生徒数、利用料金（個人負担分）、職員体制

答 対象は小学校一年生から六年生まで、利用料金は7千円、職員体制は常勤職員3名と非常勤職員2名、定員は40名となっています。

問 事業内容と事業効果

答 異年齢の児童が一緒に遊んだり、宿題をしたり、児童の健全な遊びを通しての自主性、社会性が培われており、保護者が安心して就労することができている。

問 親にとつてとても安心だと思うが、各小学校区に設置する予定はないか。

答 財政状況をみて検討、各小学校区に設置する計画はございません。



児童館での子ども達の活動

村内母子、父子家庭（ひとり親世帯）の現状

問 世帯数と支援内容、相談窓口について

答 母子世帯数は826世帯、父子世帯は165世帯、支援として児童扶養手当や母子、父子医療費助成等を行う際にひとり親世帯への支援サービス内容の説明や相談窓口を紹介している。相談内容に応じて関係機関や関係課につないでいる。

問 ひとり親世帯を支援する為の拠点づくりが今後重

要になってくると思います。が村としてどのように考えているか。

答 ひとり親世帯に言及した形の拠点づくりというのは今のところ考えてない。

問 具体的取り組み

答 平成28年度から通所型サービスを読谷村社会福祉協議会に委託予定。訪問型サービスを構築、その他の生活支援サービスをとして、栄養改善を目的とした「食の自立支援」にも取り組んでいきます。一般介護予防事業では、がんじゅう広場、がんじゅうサロン、ゆいまーる共生事業等継続支援、新規で運動技能を向上を目的とした「はつらつ運動教室」の実施。

介護保険法の改正による地域支援事業（総合事業）

問 具体的な取り組み

答 平成28年度から通所型サービスを委託予定。訪問型サービスを構築、その他の生活支援サービスをとして、栄養改善を目的とした「食の自立支援」にも取り組んでいきます。一般介護予防事業では、がんじゅう広場、がんじゅうサロン、ゆいまーる共生事業等継続支援、新規で運動技能を向上を目的とした「はつらつ運動教室」の実施。



與那覇徳雄

陸上競技場の整備と活用について

問 スタンド軒下にウレタン舗装できないか。

答 40mと距離が短くぶつかる危険があり考えていない

問 基礎トレーニング場としての整備提案だが

答 先に周辺の駐車場整備をしていきたい。

問 競技場内会議室の3年間の使用状況は

答 平成25年32件、平成26年33件、平成27年12月末21件。

問 会議室の有効活用を図つたらどうか

答 読体協ほか他団体に会議室使用を呼び掛けている。

問 スポーツ振興係を競技場内で業務させてはどうか

答 庁舎内での連携が重要であり考えていない。

問 事業推進から競技場内の業務が最適ではないか

答 他町の例でデメリットが大きい。

村営住宅について

問 平成27年12月末の村内空き家戸数は

答 推計数860戸、住宅総数の6.6%。

問 村営住宅のバリアフリー整備戸数は

答 実施した箇所はない。

問 低所得者及び障がい者世帯の村営住宅入居数は

答 入居54世帯の43世帯が収入基準下回る。43世帯5



世帯が障がい者世帯。

問 家賃補助制度についての検討は

答 財源確保及び支給対象支給額、支給期間等を整理する必要がある。

問 民間住宅の借り上げの取り組み内容は

答 実施事例が少ない。県住宅課と調整検討を進める。

問 療育手帳にある援助措置の優先入居の考えは

答 県内9自治体で優先制度導入。空き家発生率が低い。優先制度は考えていない。

問 収入超過認定世帯は今年度11世帯。

問 収入超過者に対する指導取り組みは

答 文書による勧告、直接本人呼び出し相談、撤去に至った事例はない。

問 住宅業務支援事業補助金は心身障がい者世帯等に対し支援措置があるか

答 住宅リフォーム助成制

度について家主の了解があれば可能、工事費に対し2割上限20万円。

村道親志線の交通安全対策について

問 親志公民館裏の路肩の白線舗装が出来ないか

答 外側線設置は今後検討。

問 創明館前に外灯設置が出来ないか

答 自治会管理の防犯灯設置済み。

問 行政管理の水銀灯が設置できないか

答 設置要望で受ける。



安全対策が求められる村道親志線



新垣 修幸

施政方針から

問 島ヤサイ等沖縄の伝統的農産物の多種多様な品目導入を目指すところ。どのような品目か伺う

答 沖縄県によりますと戦前から導入され伝統的に食されてきた地域固有の野菜と定義され、県が

選定した28品目が

挙げられ代表的な品目として方言名シブイ・シマナー・ナーベラー・ゴーヤー等。

問 取り入れた基本的な考え方は

答 ゆんた市場も含め学校給食への出荷消費の各々増量ヤサ

イの需要増により村としても推進。

問 学校給食に県産品が使用されているのはわずか30%台、今後の方向性は

答 給食の献立に取り入れてもらうよう取り組みを継続していく。

問 4月8日は島ヤサイの日、本村としての取り組みは

答 JAおきなわが設定、対応できるかを含めて検討する。

問 地産地消、推進計画を策定した市町村は

答 28市町村。

問 本村の豊富な観光資源・地域資源を「よみたんブランド」と位置づけ、それを

活用した観光誘客のための取り組みと地域発信に努めるとある「よみたんブランド」としての観光地域資源はど

ういったものを指しているか伺う

答 よみたんブランドは一つの資源に特化集約するものではなく読谷村の魅力

構成するさまざまな資源を包括するものと定義・現在

設定されたのが、残波岬・比謝川・泊城・残波大獅子・進貢船・喜名番所・ニライビーチ・残波ビーチ・読谷まつり・ヤチムンのむら・赤犬子宮・座喜味城跡・読谷山花織・読谷の夕陽、十

四項目。

問 ジンベイザメも資源として入ると思うが

答 14項目限定ではなくジンベイザメも今後入ってくる予定。

問 ジンベイザメによつて本村に観光客入り数は

答 年間8千名。

問 ジンベイザメは答弁の通り、調査した結果村内1

業者が取り扱った数は、年間1万9千895名、内訳ダイビング4千142名、ホエールウォッチング3千412名、修

学旅行でのダイビングとシユノールで6千38名、読谷村の魅力をもっと発信するために村内各々の名所と

関連させ陸地には観光農園、海には海洋牧場の構想を

答 県全体で観光資源として取り組んでいた、できれば読谷村にも観光誘客が可能。



島やさいを食卓へ！



山内 政徳

対象で小学生が279名、中学生が176名。開始というところで考えている。

問 ふるさと納税の準備状況は

答 利用者が気軽に利用できるようなクレジットカード決済とポータルサイトの掲載を同時に考えている。クレジットの手続等が3、4か月かかるという事で、早くて5月後半から6月ぐらいに手続きが整うという事があり、6月1日ぐらい

問 読谷村で生活保護

世帯や困窮家庭の学習支援教室（無料塾）の

実施は

答 今年の5月末か6月ごろ実施し、準用保護世帯が

どう考えるか

答 早目の抜本対策といえ、下水道事業を導入した方が一番の解決策だと思いが現在、楚辺地区と、流域下水道の村南部の方を今やっている所で、宇座地区に下水道事業が導入されるのは、長期間かかり当面は大きな汚染にはならないと考えている。

問 宇座区にあるヤー

ガー、スヌヘーク、ガ

マなどの海への影響を

子世帯、ひとり親世帯の中で生活支援が必要な対象世帯は14世帯で子ども数は25人。次年度から、内閣府の沖縄子どもの貧困対策支援員の配置と子ども居場所の運営支援を実施する予定。

問 読谷村の要保護、

準要保護は他市町村と

比較してどういう状況

か、十分な支援ができ

ていると考えるか

答 村内の経済的な理由により就学困難な世帯に対して就学するために必要な支援を行っている。



仲眞 朝雄

食物アレルギーを持つ児童生徒への対応

問 学校での対応

答 食物アレルギー委員会の設置、保護者の提出する「学校生活管理指導表」を基に、個々の児童生徒の食物アレルギーの状況把握と全教職員への情報共有、研修会の実施など。

答 児童・生徒の生命にかかわる緊急時の対応手順がある。緊急時の連絡先、かかりつけ医、アドレナリン自己注射薬（エピペン）の所有状況、救急車を呼ぶ目安など細かに確認する。

問 新給食調理場のアレルギー専用調理室の概要は

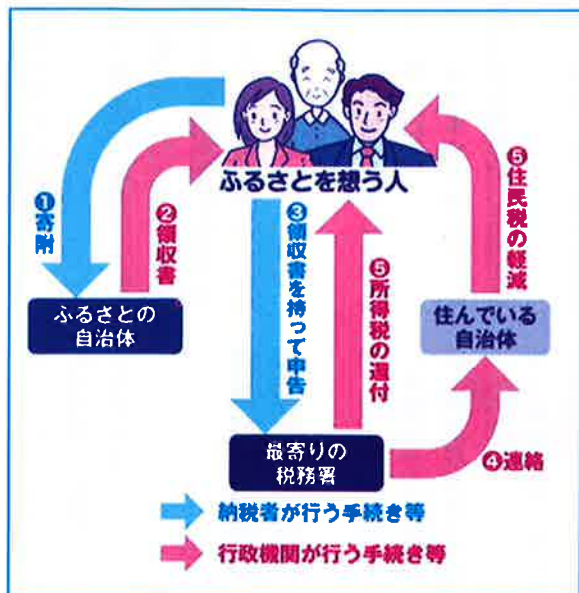
答 約6.5坪、各種調理器具などがあり、13〜20人程度の調理数を見込む。

(答弁抜粋)

小中全体で食物アレルギーを持つ児童生徒は301人。増加傾向にある。

エビペンを所持している児童生徒は全体で8名。緊急時には、全教職員がちゅうちよなく打てるよう講習、研修に取り組んでいる。

アレルギー専用調理室の運用には専任の職員が必要。



ふるさと納税の仕組み！

問 子供の貧困問題について。読谷村の状況はどうなっているか

答 生活保護や定収入の多

問 アナフィラキシーショックについてのガイドライン等の取り決め事項について

答 学校からの依頼に対応し、牛乳の除去、弁当対応による給食なし、アレルギー詳細立表の配布など。

答 炭水化物（糖質）を摂取するともっとも血糖値が上がることから食生活の改善

問 その対策は？

読谷村民の健康状態は危機的状況にあると認識。今後新設される健康推進課を中心に取り組む。

答 インスリンが枯渇し、血液中の糖が慢性的に高くなるために起こる病気。合併症に、糖尿病性神経障害、糖尿病性網膜症、糖尿病性腎症がある。

問 発症の仕組み

糖尿病の増加について

読谷村の人口の割合から、2千130人程が糖尿病、さらに4千200人余りが予備軍。国保のレセプトの糖尿病の費用は、H26年度に4億500万余り全体の費用額の10%。人工透析は3億7千800万余り。インスリン治療、糖尿病性腎症は増えて重症化する傾向。



アドレナリン注射薬（エピペン）

適度な運動など。早期に気づくために検診を受け発症予防、重症化の予防、軽減化。

（答弁抜粋）

H27年5月で1,005人が糖尿病で治療。インスリン療法33名、糖尿病網膜病69名、糖尿病性腎症75名、糖尿病性神経障害25名。

平成25年度政務活動費収支報告

| | |
|-----------|------------|
| 前期（4月～7月） | 後期（10月～3月） |
| 90,000円 | 90,000円 |

平成27年4月～平成28年3月分（月額15,000円×12ヶ月）

* 交付総額から支出総額を引いて残金がある場合は返還になります。

【政務活動費とは】 地方自治法第100条第14項・第15項及び読谷村議会政務活動費の交付に関する条例に基づき、議員の村政に関する調査研究に資するため必要な経費の一部として交付されるものです。

| 調査研究費 | 研修費 | 会議費 | 資料作成費 | 資料購入費 | 広報費 | 事務費 |
|--|--|---|---|---------------------------------|----------------------------------|-------------------------------------|
| 議員が行う村の事務及び行財政に関する調査研究に要する経費（講師謝礼費、交通費、宿泊費等） | 国体等が開催する研修会、講演会等への議員の参加に関する経費（会費、交通費、宿泊費等） | 議員が行う各種会議に要する経費（会場費、機材借り上げ費、交通費、資料印刷費等） | 議員が議会審議に必要な資料を作成するために要する経費（印刷・製本費、原稿料等） | 議員が行う調査研究のために必要な図書・資料等の購入に要する経費 | 議員が行う議会活動及び村政に関する政策等の広報用看板に要する経費 | 議員が行う調査研究のための事務遂行に必要な経費（事務用品費、通信費等） |

平成27年度政務活動費収支報告

| 氏名 | 交付総額 | 使 途 | | | | | | | 残余金 | |
|---------|-----------|-----------|---------|-----|--------|--------|--------|--------|-----------|---------|
| | | 調査研究費 | 研修費 | 会議費 | 資料作成費 | 資料購入費 | 広報費 | 事務費 | | |
| 與那覇徳雄 | 180,000 | 194,660 | | | | 7,700 | | | 202,360 | 0 |
| 知花 徳栄 | 180,000 | | 113,800 | | | 4,564 | | | 118,364 | 61,636 |
| 新城昭彦 | 180,000 | 98,300 | 118,500 | | | 4,104 | | | 220,904 | 0 |
| 山内 政徳 | 180,000 | 198,800 | | | | | | | 198,800 | 0 |
| 仲宗根盛良 | 180,000 | 111,655 | 59,722 | 460 | 11,112 | | 31,448 | | 214,397 | 0 |
| 仲 眞 朝 雄 | 180,000 | | 113,800 | | | | | | 113,800 | 66,200 |
| 新垣 修 幸 | 180,000 | 84,800 | | | | | | | 84,800 | 95,200 |
| 當間 良 史 | 180,000 | 198,800 | | | | 10,024 | | | 208,824 | 0 |
| 比 嘉 幸 雄 | 180,000 | 291,800 | 10,500 | | | 3,024 | | | 305,324 | 0 |
| 津波古菊江 | 180,000 | 167,255 | | | | 9,024 | | 13,371 | 189,650 | 0 |
| 上地利枝子 | 180,000 | 96,300 | 113,800 | | | | | | 210,100 | 0 |
| 上 地 栄 | 180,000 | 97,540 | 114,060 | | | 2,600 | 38,134 | | 252,334 | 0 |
| 伊佐 眞 武 | 90,000 | | | | | | | | 0 | 90,000 |
| 長 浜 宗 則 | 180,000 | 198,800 | | | | 10,024 | | | 208,824 | 0 |
| 神 谷 嘉 栄 | 180,000 | | 232,300 | | | 4,104 | | | 236,404 | 0 |
| 城 間 勇 | 90,000 | | 113,800 | | | | | | 113,800 | 0 |
| 伊 波 篤 | 90,000 | 70,748 | | | | 11,063 | | | 81,811 | 8,189 |
| 計 | 2,790,000 | 1,809,458 | 990,282 | 0 | 460 | 77,343 | 38,134 | 44,819 | 2,960,496 | 321,225 |

平成28年度総務常任委員会県外所管事務調査の概要報告

総務常任委員会 委員長 伊佐 眞武

1. 経過と概要

本委員会は、平成27年6月から11月まで閉会中の所管事務調査として「歳入・歳出予算各市町村比較」等の調査を行ってきた。

読谷村は、向こう5年間で給食調理場や歴史民俗資料館等5つの主要公共工事が予定されている。

本委員会では、今後10年間の元利償還金（*注釈①）と地方債残高（*注釈②）のシミュレーション等を審議してきたところであるが、昨今、生活環境や海洋環境も重要視されている中、社会基盤整備としての下水道事業も課題として残されている。

そこで、本委員会では、財政的見地から社会基盤整備のあり方を調査するため、県内外の先進地の調査を行ってきた。また、現下、労働法制の相次ぐ改正により全国の自治体では、正規職員、非正規職員の現場実情も全国共通の課題があることから、その件も併せて調査を行ってきた。

（*注釈①）元利償還金・・・返済する元金と利息

（*注釈②）地方債残高・・・自治体の借金残高

大野市役所

2. 調査期間

平成28年4月18日～4月21日

3. 視察場所

福井県 大野市・福井市・勝山市

4. 調査項目

(1) 福井県大野市 ― 下水道事業について

- ①人口普及率、接続率等の整備状況
- ②事業の形態（流域処理、単独処理、農業集落排水）
- ③事業推進のための財政計画

(2) 福井県 福井市・勝山市 ― 職員の雇用形態

- ①正規職員と非正規職員の状況（構成比率、平均年齢、平均月収）
- ②非正規職員の待遇等



りっかりっか読谷村議会

3月定例会での傍聴者は、延べ32名でした。

平成28年6月定例議会は6月14日(火)からの予定です。

◎議会の日程についてホームページでお知らせしております◎

読谷村公式ホームページアドレス

<http://www.yomitan.jp>

〈お問い合わせ〉

議会事務局 TEL 098-982-9225